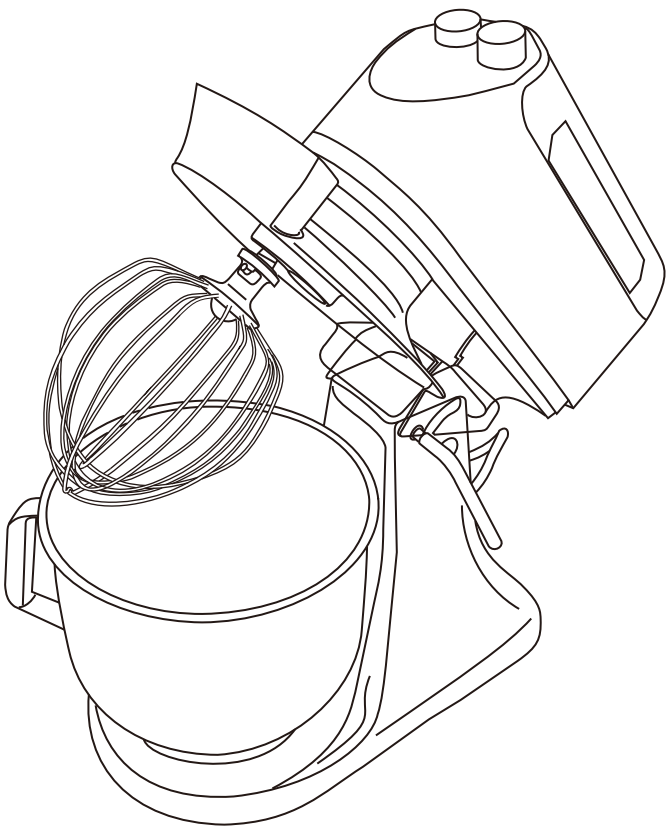
WARING COMMERCIAL®

WARING PLANETARY MIXER

WSM7L

取扱説明書



OSAKA CHEMICAL CO.,LTD.

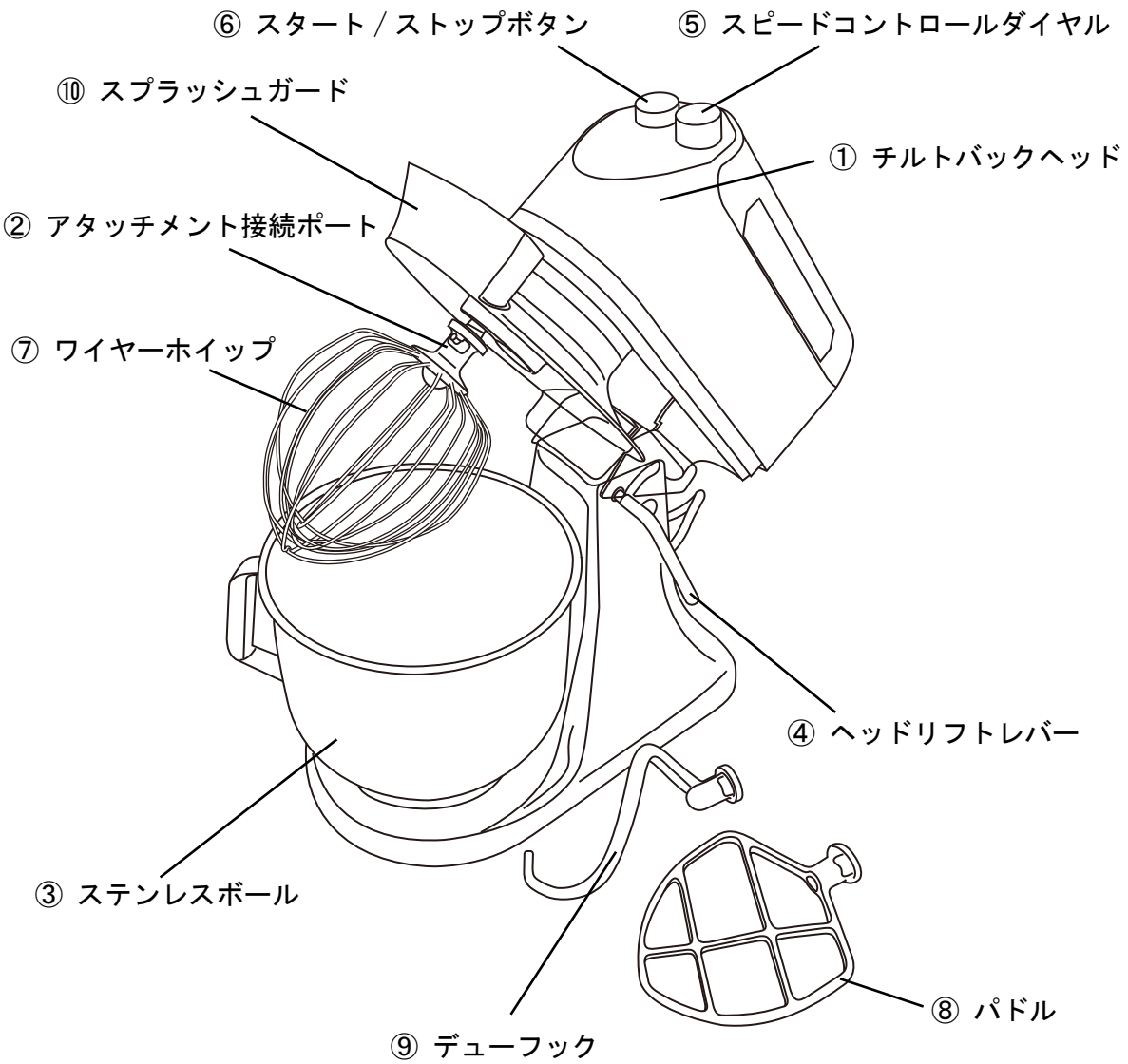
ワーリング プラネタリミキサー

WSM7L

この度は WARING 社　ワーリング プラネタリミキサー「WSM7L」をご購入頂き、 誠にありがとうございました。 本機は実験、 研究用の強力な大容量攪拌機です。　本機を正しく事故のないようお使い頂く為に、 ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さいますようお願い致します。

図 -A

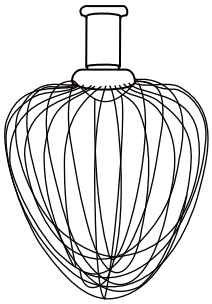
[WSM7L　各部名称]



アタッチメント

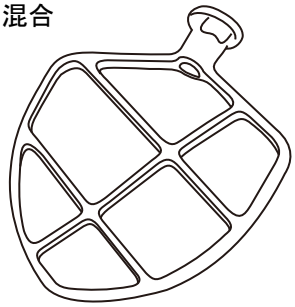
① ワイヤーホイップ

粘度の高くない試料に空気を入れながらミキシングするのに適しています。



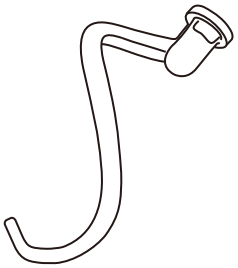
② パドル

粘度の高い試料を攪拌・混合するのに適しています。



③ デューフック

粘度が非常に高く、重量が重い試料を混錬するのに適しています。



ワーリング プラネタリミキサー
仕様

型　　式	WSM7L
電　　源	100V、50/60Hz
消費電力	350W
回 転 数	11 段変速
寸　　法	235x415x450mm(H)
容器寸法	底部 110 x 開口部 220 x 高さ 215 mm
重　　量	15.7kg (ホイップ、 SUS 容器取付時)
付 属 品	ワイヤーホイップ、 パドル、 デューフック、 スプラッシュガード

図 -B

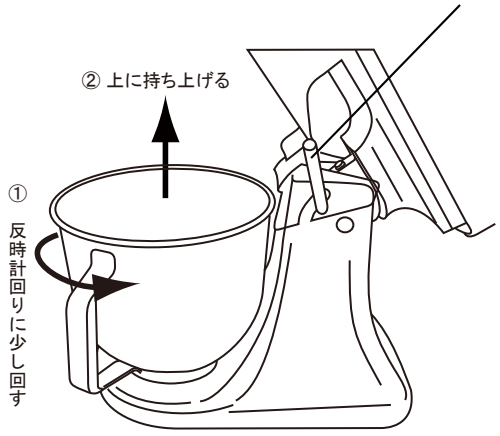

（イ）ヘッドリフト レバー
② 上に持ち上げる
① 反時計回りに少し回す

図 -C

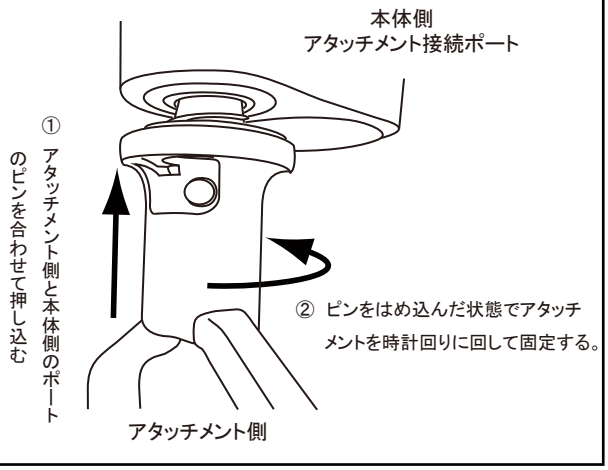
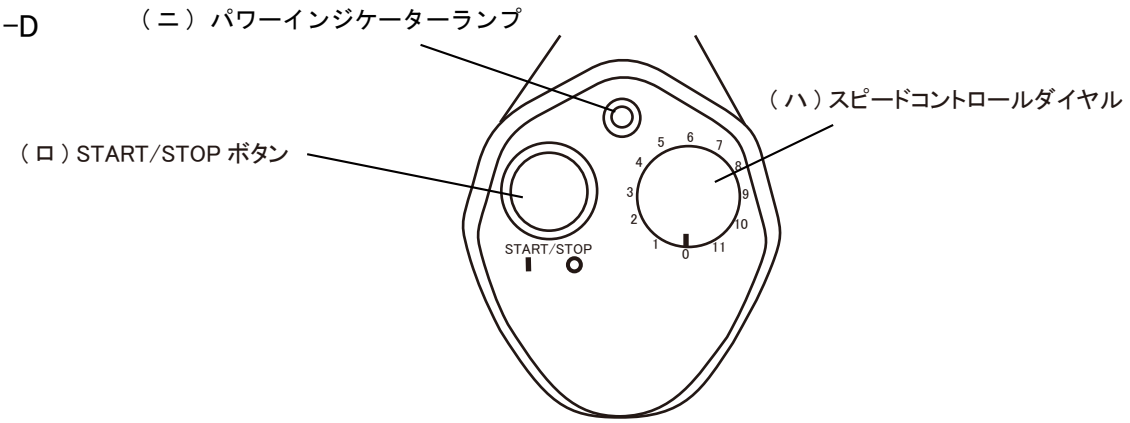

本体側
アタッチメント接続ポート
① アタッチメント側と本体側のポートのピンを合わせて押し込む
② ピンをはめ込んだ状態でアタッチメントを時計回りに回して固定する。
アタッチメント側

図 -D

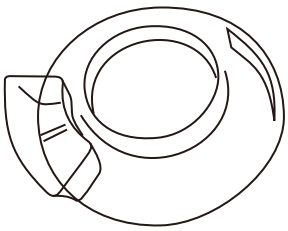

（ニ）パワーインジケーターランプ
（ハ）スピードコントロールダイヤル
（ロ）START/STOP ボタン
START/STOP
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

操作

1. まず、 図 -B のヘッドリフト リリースレバー (イ) を反時計回りの方向に何度か回して緩めてから、 図 -A のチルトバックヘッド①を手で持ち上げます。 目一杯持ち上げた後は、 ヘッドリフト リリースレバー (イ) を時計回りに回してチルトバックヘッド①が動かないようロックして下さい。
2. 図 -B のようにステンレスボールを反時計回りに少し回して上に持ち上げて、 ステンレスボールを台座から取り外します。
3. ステンレスボールにミキシングする試料を投入します。
4. 2 と逆の動作で試料の入ったステンレスボールを台座に置き、 ゆっくりとボールを時計回りに回し、 しっかりと取り付けます。
5. 図 -C のように用途に合わせて、 アタッチメントを取り付けます。
6. 図 -B のヘッドリフト リリースレバー (イ) を再び反時計回りの方向に回してロックを解除し、 チルトバックヘッド①を手で下方向に最後まで押し込み、 ヘッドリフト リリースレバー (イ) を時計回りに回してチルトバックヘッド①が動かないようロックして固定します。
7. 準備が整ったら、 電源コードのプラグを 100V のコンセントに差し込んで下さい。 (その際必ずアースをお取り下さい。)
8. 図 -D のスピードコントロールダイヤル (ハ) を反時計回りに回してダイヤルを「0」に合わせてから、 START/STOP ボタン (ロ) を押して下さい。 パワーインジケーターランプ (ニ) が点灯します。 その後スピードコントロールダイヤルを徐々に上げていって希望の速度でミキシングして下さい。
9. ミキシング作業が終わったら、 START/STOP ボタン (ロ) を押して運転を止めます。 機械が完全に止まったらコンセントから電源コードのプラグを外します。
10. 1 ～ 2 の手順でステンレスボールを取り外し、 試料を適当な器に移し替えて下さい。
11. 使用後はスプラッシュガード、 ステンレスボール、 アタッチメントを取り外し中性洗剤で洗浄し、 よくリンスして、 乾燥させた上で保存して下さい。 本体の汚れはよく絞った濡れた布等で拭き取って下さい。

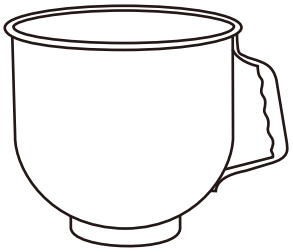
※ アタッチメントを取り替えるだけならば、 スプラッシュガードを取り外す必要はありません。

交換部品表



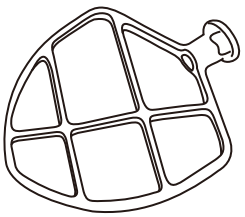
スプラッシュガード

型番 : 037794



ステンレスボール

型番 : 037795

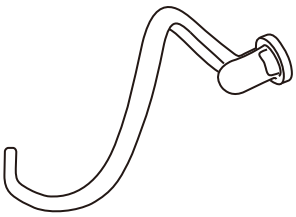


パドル

型番 : 037796

ワイヤーホイップ

型番 : 037797



デューフック

型番 : 037798

注意事項

- ○ 機械の改造はしないで下さい。火災、感電、怪我の原因になります。
- ○ 本体を水につけたり、水をかける等は絶対にしないで下さい。ショート、感電の原因となります。
- ○ 本機を操作する前に電源コードのプラグがコンセントに入っていない事を確認して下さい。作業中に誤って電源が入ってしまうと非常に危険です。
- ○ 運転作業は平らで安定したところで行って下さい。
- ○ ネクタイや髪の毛、ネックレス等を巻き込まれないよう十分にご注意下さい。
- ○ 容器やアタッチメントの取り外しは必ず電源プラグをコンセントから取り外してから行って下さい。
- ○ 本機の稼働時は図 -D のスピードコントロールダイヤル（ハ）を 0 に戻しておいて下さい。 最初から高速運転すると試料があふれ出る事がございます。
- ○ 作動中はステンレスボールの中に手や指、箸、スプーン等は絶対に入れないで下さい。
- ○ 作動中にアタッチメントが動かなくなったり、動作が異常だと感じたら直ちにスイッチを OFF にし、点検を行って下さい。（その際、本体のプラグをコンセントから外して行って下さい。）
  試料を入れすぎていた場合は、試料を減らしてお試し下さい。
- ○ 決して稼働部分に触れないで下さい。
- ○ 屋外では使用しないで下さい。

最大処理量の目安

以下の最大容量は、あくまでも目安としてご利用ください。使用する粉体の種類、使用する水の温度、その他の条件によっては、量を減らさなければならない場合があります。

試料名	アタッチメント	スピード	最大処理量
パン生地、ロール生地（最終的な重量）	デューフック	1 速のみ	約 1.5kg
ピザ生地（最終的な重量）	デューフック	1 速のみ	約 1.36kg
マッシュドポテト	パドル	5 ～ 9 速	約 1.5kg
ホイップクリーム	ワイヤーホイップ	10 速	約 1.89ℓ

サーマルプロテクト機能

過負荷になると、モーターを保護するために本体が停止します。本機のプラグをコンセントから抜いて、本体が十分に冷えるまで待ちます。温度が下がった後、プラグを壁に差し込みます。
手動リセットボタン（本体背部のボタン）を押すことで、本機が再び動作するようになります。

◎上記の注意事項を怠ったりしますと、事故につながったり、満足な試料作成が出来ない場合がありますので、必ず守って下さいますようお願い申し上げます。

ラボ用輸入機材専門メーカー
大阪ケミカル株式会社

〒530-0045
大阪府大阪市北区天神西町 5-17 アクティ南森町 2F
TEL 06-6311-1050　　FAX 06-6311-1070
E-mail:info@daichem.co.jp
http://www.daichem.co.jp